

# 雨の夜

樋口一葉

青空文庫



庭にはの芭蕉ばせをのいと高たかやかに延のびて、葉はは垣根かきねの上うへやがて五尺ごしやくも  
 こえつべし、今歳ことしはいかなれば斯かくいつまでも丈たけのひくきなど言い  
 ひてしを夏なつの末すゑつかた極きはめて暑あつかりしに唯ただ一日ひとひふつか、三日みつかとも  
 数かぞへずして驚おどろくばかりに成なりぬ、秋あきかぜ少すこしそよよとすれば端はしの  
 かたより果敢はかなげに破やぶれて風情ふぜい次第しだいに淋さびしくなるほど雨あめの夜よの音おと  
 なひこれこそは哀あはれなれ、こまかき雨あめははらくくと音おとして草村くさむら  
 がくれ鳴なくこほろぎのふしをも乱みださず、風かぜ一ひとしきり颯さつと降ふりくるは彼か  
 の葉はにばかり懸かるかといたまし。雨あめは何時いつも哀あはれなる中なかに秋あきはま  
 して身みにしむこと多おほかり、更ふけゆくまゝに灯とも火しびのかげなどうら  
 淋さびしく、寝ねられぬ夜よなれば臥床ふしどに入いらんも詮せんなしとて小切こぎれ入いれ

たるたうがみ 畳紙たうがみ とり出いだし、何なにとはなしに針はりをも取とられぬ、未まいだ幼とけ  
なくて伯母をばなる人ひとに縫物ぬひものならひつる頃ころ、枉おくみさき先つま、褌なりの形なりなど  
六むづかしう言いはれし、いと恥はづかしうて是これ習ならひ得えざらんほどはと  
家いへに近ちかき某それの社やしろに日につさん 参さんといふ事ことをなしける、思おもへば夫それも昔むかし  
成なりけり、をしへし人ひとは苔こけの下したになりて習ならひとりし身みは大方おほかたもの  
忘わすれしつ、斯かくたまさかに取とり出いづるにも指ゆびの先さきこわきやうにて、  
はか／＼しうは得えも縫ぬひがたきを、彼かの人ひとあらば如何いかばかり言い  
ふが甲斐ひなく浅あさましと思おもふらん、など打うち返かへし其そのむかしの恋こひしうて  
無そ端ろに袖そでもぬれそふ心地こゝちす、遠とほくより音おとして歩あゆみ来くるやうなる雨あめ、  
近ちかき板戸いたどに打うちつけの騒さわがしき、いづれも淋さびしからぬかは。老おいたる  
親おやの瘦やせたる肩かたもむとて、骨ほねの手に当あたりたるも斯かる夜よはいとゞ心こ

くろほそ  
細さのやるかたなし。



# 青空文庫情報

底本：「日本の名随筆43 雨」作品社

1986（昭和61）年5月25日第1刷発行

1991（平成3）年10月20日第10刷発行

入力：加藤恭子

校正：浦田伴俊

2000年8月19日公開

2005年6月26日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www>

W.aozora.gr.jp/) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランテイアの皆さんです。

# 雨の夜

樋口一葉

2020年 7月12日 初版

## 奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>